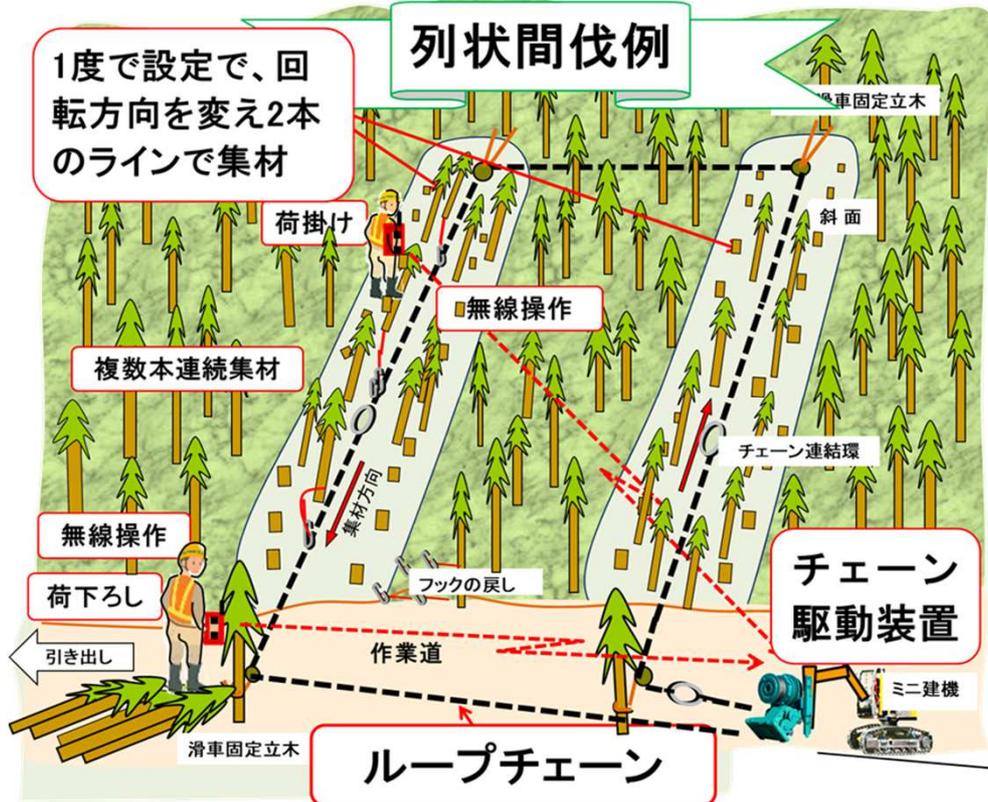


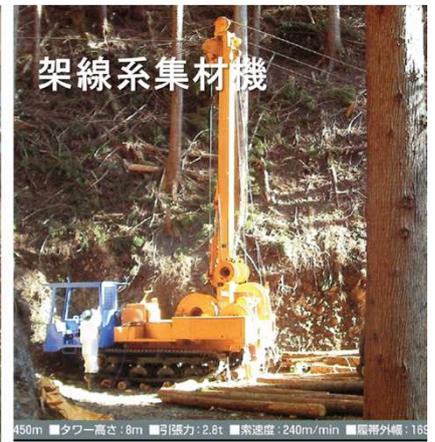
チェーン式連続集材装置（Kシステム）

急峻な日本の山林に、安全、扱い易い集材機



日本の森林の現状

日本の国土面積の約2/3が森林、その60%が人工林
急斜面の山の上まで自然林を伐採して、年35万haの造林を
1965年頃まで実施した結果が現在の人工林。樹齢50年～60年
となって収穫の時期、しかし……………
急斜面で、集材作業が困難、手入れがなされていない。



架線系集材機

- ・架線に吊り下げて牽引、
長距離集材可
- ・設置、複雑な架線の
取り回しが必要
- ・操作に熟練が必要

新しい
集材機
登場



主な特徴

- ✓ 常に一定の牽引力が利用できる
- ✓ 運転・停止の二つだけの運転操作で熟練は不要
- ✓ 本体幅2m幅で、比較的幅約2mの狭い作業道で作業現場に移動、設置可
- ✓ 現場でチェーンの連結、切り離しを行い、ループチェーン長さ最適化

主な仕様

ミニ建機本体	5トン級ショベル、車体幅 2m
チェーン駆動装置	油圧駆動 正転・逆転
集材距離・斜度	最大200m 最大40度
集材方式	ループチェーンによる連続集材
集材斜度	荷揚げ、荷下げともに最大40度
牽引チェーン	特殊強力タイプ 30m／本を複数連結
牽引力・牽引速度	低速:2t、30m/分 高速:1.3t 50m/分
運転操作	有線および無線操作 (見通しあり最大200m)